

静岡大学生涯学習教育研究センター

地域と大学

第4号

Newsletter No. 4, Center for Education and Research of Life Long Learning

センター開設3年目を迎えて

静岡大学生涯学習教育研究センター長 岡田 巖太郎

学内共同研究施設である静岡大学生涯学習教育研究センターは、国立大学では15番目の同種の省令施設として、平成9年4月に産声をあげ、本年度はその開設3年目を迎えたところです。私は昨年4月にセンター長をお引き受けし、その後のセンターの立ち上げや今後のセンターが進むべき方向付け等に関わってまいりました。その間の大きな動きとして、佐藤学長はじめ全学のご理解・ご協力を得て、理学部B棟1Fの一翼にセンター施設の新設が実現し、昨年11月に共通教育A棟から移転しました。静岡県生涯学習情報提供システム「マナビット」の設置も完了し、センター関係者一同新たな気持ちで、各種業務に取り組んでいるところです。学外の方々からは、当該施設へのアクセスが便利になったとの声をいただき、改めて感謝いたしております。

ご承知のように、昨年度から静岡大学社会教育主事講習の企画・運営を、また規則を整備したうえで、本年度から静岡大学公開講座の企画・運営を、それぞれセンターの所掌業務としてお引き受

けし、現在これら両事業の円滑な展開をはかるべく、鋭意努力しているところであります。

本年は、静岡大学開学50周年という大きな節目の年でもあり、これを祝う記念事業が全学的に展開されております。センターといたしましては、「大学と地域の豊かな共生を目指して—静岡大学・21世紀を生きる—」というテーマを掲げ、本年11月中旬に学外で、開学50周年記念公開シンポジウムを実施することにいたしております。

本年6月9日に、生涯学習審議会は「生活体験・自然体験が日本の子どもの心をはぐくむ」および「学習の成果を幅広く生かす」という2本の答申を提出しました。特に後半の答申においては、学習成果が様々な形で活用でき、生涯学習による生きがい追求が、創造性豊かな社会の実現に結びつくようにするための具体的な提言を、いくつか行なっております。その中の1つに、「日常的に大学などの公開講座を、全国の公民館などで受講できるようにするなどの、通信衛星等を活用した学習機会の拡大」という一項があります。本学の公開講座も、近い将来全国ネットへの参加を視野に入れた検討を迫られるものと思われま

す。生涯学習教育研究センターは、今後とも地域社会と大学を結ぶ開かれた静岡大学の窓口として、真に地域社会に根ざした活動を展開してまいります。全学的なご支援をお願い申し上げます。



生涯学習教育研究センター資料室の利用風景

平成11年度 静岡大学公開講座のお知らせ

今年度の静岡大学公開講座は、9月11日から11月6日にかけて以下の5会場で開催されます。

なお本年度から生涯学習教育研究センターの委員会である公開講座委員会（センター長を委員長

とし各学部選出教官、センター教官の合計10名で構成）が運営に携わることとなりました。募集は各会場毎に行います。

	静岡会場	浜松会場	清水会場
講座名称	静岡の自然と歴史	環境とリサイクル	東洋思想の世界への発信
共催・後援	静岡市教育委員会（共催）	浜松市教育委員会（後援）	清水市教育委員会（共催）
会場	アイセル21（静岡市中央公民館）	静岡大学工学部（佐鳴会館）	清水市中央公民館
開設時間帯	火曜日 18時30分～20時30分	土曜日 14時00分～16時00分	土曜日 14時00分～16時00分
受付期間	9月6日(月)～9月17日(金)	8月23日(月)～9月3日(金)	9月6日(月)～9月17日(金)
受付場所	〒422-8529 静岡市大谷836 静岡大学研究協力課	〒432-8561 浜松市城北3-5-1 静岡大学(工学部内)研究協力課	〒424-0836 清水市桜が丘町 7-1 清水市中央公民館
連絡先	TEL 054-238-4264	TEL 053-478-1002	TEL 0543-54-1321
開設日と講義題目及び講師	9/28(火) 「静岡周辺の地形と地質の特性」 理学部教授 狩野謙一 10/5(火) 「静岡・森と田んぼの風土」 農学部助教授 佐藤洋一郎 10/12(火) 「静岡の風土とみかん栽培の歴史」 農学部教授 高木敏彦 10/19(火) 「静岡と古代の交通」 名誉教授 原秀三郎 10/26(火) 「静岡を舞台とした戦国武将」 教育学部教授 小和田哲男	9/11(土) 「環境問題への視点」 学長 佐藤博明 9/18(土) 「地球のゆっくりとしたものの流れ」 理学部教授 和田秀樹 9/25(土) 「環境を汚染する化学物質」 工学部教授 木下 恒 10/2(土) 「廃棄物のリサイクルを考える」 工学部助教授 松田 智 10/9(土) 「廃棄プラスチックのリサイクル」 工学部教授 上野晃史	9/25(土) 「禅」と「ゼン」はどう違うか 人文学部教授 重松宗育 10/2(土) 「東洋人の自然観」 人文学部教授 荒川 紘 10/9(土) 「日本の保育」 教育学部教授 金田利子 10/16(土) 「人生はブンガワンソロの如く」 人文学部教授 染谷臣道 10/23(土) 「森をみる心一日・欧・南米人の森林観」 農学部教授 今永正明

	沼津会場	熱海会場
講座名称	環境とリサイクル	東洋思想の世界への発信
共催・後援	沼津市教育委員会（共催）	熱海市教育委員会（共催）
会場	沼津市民文化センター	熱海市中央公民館いきいきプラザ
開設時間帯	土曜日 14時00分～16時00分	土曜日 14時00分～16時00分
受付期間	8月30日(月)～9月10日(金)	9月13日(月)～9月24日(金)
受付場所	〒410-0881 沼津市八幡町97 沼津市教育委員会生涯教育課	〒413-0015 熱海市中央町1-25 熱海市中央公民館
連絡先	TEL 0559-51-3420	TEL 0557-82-1271
開設日と講義題目及び講師	9/18(土) 「環境問題への視点」 学長 佐藤博明 9/25(土) 「地球のゆっくりとしたものの流れ」 理学部教授 和田秀樹 10/16(土) 「環境を汚染する化学物質」 工学部教授 木下 恒 10/30(土) 「廃棄物のリサイクルを考える」 工学部助教授 松田 智 11/6(土) 「廃棄プラスチックのリサイクル」 工学部教授 上野晃史	10/2(土) 「禅」と「ゼン」はどう違うか 人文学部教授 重松宗育 10/9(土) 「人生はブンガワンソロの如く」 人文学部教授 染谷臣道 10/16(土) 「日本の保育」 教育学部教授 金田利子 10/30(土) 「東洋人の自然観」 人文学部教授 荒川 紘 11/6(土) 「森をみる心一日・欧・南米人の森林観」 農学部教授 今永正明

- ・各会場とも募集人数は80人。
- ・ // 講習料は5,500円（全日程）。

なお、いったん納入された講習料は、受講できなくなった場合でも返金できません。

第1日は、開始15分前に開講式が、また第5日は講義終了後に閉講式が行われます。

受講申込書は開催会場などに置かれていますので、申込書に講習料を添えて受付期間内に受付場所に申込み下さい。

郵送される場合は、講習料を郵便為替又は現金書留とし、返信用封筒を添えること。

受講者は附属図書館が利用できます。

平成11年度 静岡大学社会教育主事講習の実施

文部省委嘱の平成11年度社会教育主事講習は、7月21日から8月20日まで、生涯学習教育研究センター長を運営委員長として、31日間の日程で開始されることとなりました。炎天下のもと静岡県、神奈川県社会人受講生が、学内および県内諸施設を利用して講義、演習(グループワーク)、野外活動等の講習に参加しました。

概要は以下のとおりです。

○運営委員会の組織

運営委員長	生涯学習教育研究センター長	岡田巖太郎
運営委員	文部省生涯学習局社会教育課長	大西珠枝
〃	静岡県教育委員会社会教育課長	杉浦靖彦
〃	神奈川県教育委員会生涯学習文化財課長	広瀬和宏
〃	山梨県教育委員会社会教育課長	数野勝彦
〃	静岡大学事務局長	山口忠厚
〃	〃 庶務部長	山田久仁夫
〃	〃 生涯学習教育研究センター教授	柴垣勇夫
〃 (主任講師)	〃 助教授	阿部耕也
〃	静岡大学教育学部長	伊藤敬
〃	〃 教育学部助教授	橋本健二
幹事	静岡県教育委員会社会教育課主席指導主事	伊藤茂昭
〃	〃 指導主事	塩谷廣男
〃	静岡大学庶務部研究協力課長	西田節子
〃	〃 教育学部事務長	杉浦將由
〃	〃 庶務部研究協力課共同施設係長	谷澤幸悦
〃	〃 教育学部総務係長	矢崎丈夫

○日 程

平成11年7月21日(水)

開講式・講義…静岡大学学生会館等

7月22日(木)～24日(土)

講義・野外活動・演習…県立焼津青少年の家

7月26日(月)～31日(土)

講義・施設見学…県立中央図書館・県立美術館・県地震防災センター

8月2日(月)～9日(月)

講義等…静岡大学人文棟講義室

8月10日(火)～13日(金)

講義・演習・野外活動…国立中央青年の家

8月16日(月)～20日(金)

講義・演習・発表・シンポ・閉講式…

静岡大学教育棟・学生会館

○受講者

静岡県…男性37名、女性5名

神奈川県…男性5名、女性1名 合計48名

内訳…教育委員会・役場関係19名

教員24名、院生2名、その他3名



(社会教育主事講習) 静岡県地震防災センターの見学

公開講座「20世紀とは何だったか」後期日程決まる

本学開学50周年記念静岡新聞社・SBS静岡放送文化スペシャル公開講座「20世紀とは何だったか」は前期日程9回分が6月12日をもって好評裡に終わりましたが、8月からの後期日程が決まり、すでに募集も締切られました。前期が20世紀を経済、環境、教育、生命などの視点から検証したのに対し、後期はさらに幅広い分野からの検証とともに、人間の生き方を探る以下の9回の講座です。

会 場：しずぎんホール「ユーフォニア」

開講時間：13：30～15：30

①1999.8.29(日)「2000年問題と電腦社会」

情報学部 合庭惇教授

②1999.10.16(土)「20世紀のテクノロジーと未来」

工学部 藤安洋教授ほか

③1999.12.4(土)「地球は世界人口を支えられるか」

農学部 中井弘和教授ほか

④2000.2.19(土)「人類未体験時代の到来」

人文学部 山脇貞司教授ほか

⑤2000.4.22(土)「神と人間—科学技術時代の宗教の可能性—」

人文学部 荒川紘、松田純教授

⑥2000.6.17(土)「持続可能な循環社会」

工学部 荒木信幸教授ほか

⑦2000.8.19(土)「20世紀は科学の時代」

理学部 天岸祥光、石川勝利教授

⑧2000.10.21(土)「舞台は地球、テーマは人類」

人文学部 小櫻義明教授ほか

⑨2000.12.16(土)「ともに21世紀の扉を開けよう」

佐藤博明学長ほか

生涯学習教育研究センター事業の開催

平成11年度の生涯学習教育研究センター主催事業は、7月から2月にかけて計画いたしておりますが、「博物館と大学を結ぶ」公開シンポジウムを昨年12月に引き続き第2回目として7月10日に実施いたしました。社会教育施設と大学の接点を討議し、大学での博物館教育と現場での社会教育のあり方を探る討論が活発にされました。また、開学50周年記念公開討論会を11月に実施します。

○「博物館と大学を結ぶ」第2回公開シンポジウム

テーマ『博物館における教育・普及活動』

開催日時：平成11年7月10日(土)13:00～16:30

会場：静岡大学・大学会館ホール

基調講演：(財)科学技術館 事業部課長 水嶋英治氏

事例報告：大阪市立博物館 学芸員 酒井一光氏

静岡市立登呂博物館 主幹 中野 宥氏

静岡市立日本平動物園 主事 佐渡友陽一氏

静岡県立美術館 学芸員 泰井 良氏

コメント：静岡大学情報学部教授 大堀 哲氏

〃 教育学部助教授 菅野文彦氏

討議：水嶋英治、酒井一光、中野宥、
佐渡友陽一、泰井良、菅野文彦各氏

コーディネーター 情報学部教授 大堀 哲氏

参加者：教職員、学生、博物館関係者等90名



「博物館と大学を結ぶ」公開シンポジウム事例報告風景

○生涯学習教育研究センター主催

開学50周年記念公開シンポジウムの開催

テーマ：「大学と地域の豊かな共生を目指して
—静岡大学・21世紀を生きる—」

日時：平成11年11月14日(日)13:30～16:30

場所：静岡音楽館AOI 7階 講堂

講師・基調講演、パネラー予定者

榛村純一掛川市長、星猛前静岡県立大学
長、齋藤諦淳常葉学園大学長、角替弘志
常葉大教授、太田幹晴県総合教育セン
ター所長、中井弘和静大学長補佐・大堀
哲静大情報学部教授（ともにセンター教
育研究担当教官）を予定（柴垣）

研究紀要「生涯学習教育研究」への投稿募集

生涯学習教育研究センターでは、研究紀要掲載の論文を募集しています。以下の投稿規程により全学からの応募を期待します。奮って投稿下さい。

1) 生涯学習・社会教育関連の理論的・実証的研究に関する未発表の学術論文等を掲載。

2) 投稿資格は、本学及び共同教育研究施設の教職員、センター研究員等。

3) 投稿原稿量は、A4判46字×40行で16ページ。

4) 投稿期限は、毎年11月末日。年1回3/31発行。

生涯学習教育研究センターホームページアドレスは、<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~lckabe/cerll/>です。(阿部)

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座実施情報、大学開放事業などをこのニューズレターに掲載し、広報します。最近の計画、将来の計画をセンターまでお寄せ下さい。TEL/FAX 238-4817が資料室・受付です。

地域と大学 第4号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

平成11年7月31日発行

〒422-8529 静岡市大谷836 (理学部B棟1階)
静岡大学生涯学習教育研究センター
TEL 054-237-1111(代)
TEL/FAX

054-238-4817(資料室・受付)
事務局 静岡大学研究協力課共同施設係 TEL054-238-4264